

2026年度

学 生 募 集 要 項

社会学研究科

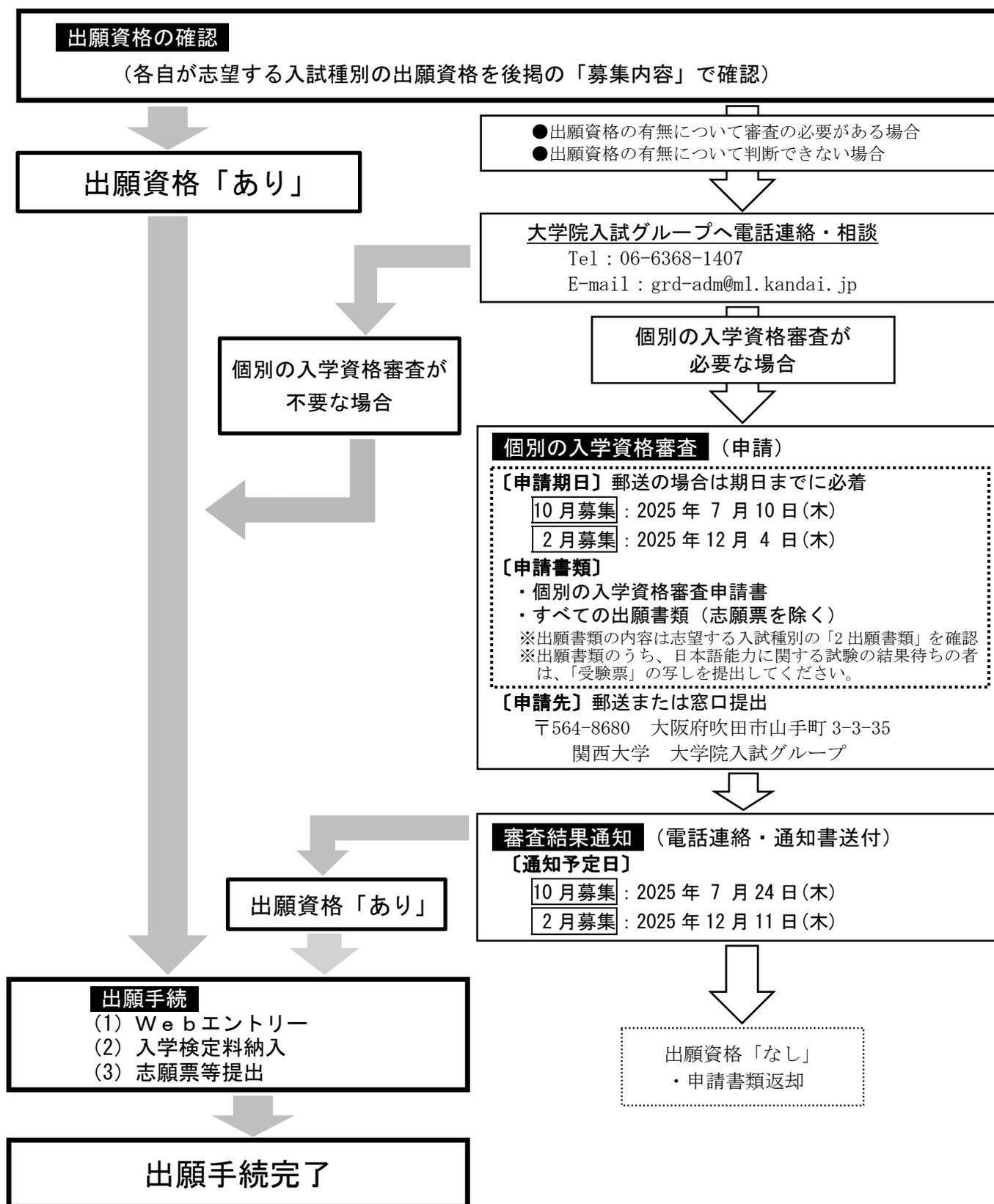
大学院入試情報サイトに掲載している
『学生募集要項 別冊(研究科共通)』とあわせてご確認ください。

関西大学大学院

目 次

I	出願前の確認	1
II	入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
III	2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧	2
IV	募集内容	3
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻・コースおよび入学定員	3～5
	一般入学試験(10月募集・2月募集)	6～8
	外国人留学生入学試験(10月募集・2月募集)	9～11
	社会人入学試験(10月募集・2月募集)	12～14
	2026年度 社会学研究科 演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者一覧(博士課程前期課程)	15
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	16
	一般入学試験(2月募集)	17～19
	外国人留学生入学試験(2月募集)	20～22
	社会人入学試験(2月募集)	23～25
	2026年度 社会学研究科 論文指導研究テーマおよび担任者一覧(博士課程後期課程)	26
V	出願書類に関する注意事項	27～28

I 出願前の確認



出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。

ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

社会学研究科（博士課程前期課程）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を社会人、留学生を含めた幅広い層から求めます。

- 1 将来研究者として自立するための基礎となる知識と学力、あるいは専門性を有する職業人となるために必要な基礎的な知識と学力を十分に備えている。
- 2 社会と人間に関する強い問題意識と、広い視野から研究にとりくむ関心の広さならびに意欲を十分に備えている。
- 3 社会と人間に関する問題に目を向け、その解決に挑み、新たな価値を創出することで学術的に貢献することやその社会への還元を志している。

後期課程

社会学研究科（博士課程後期課程）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を社会人、留学生を含めた幅広い層から求めます。

- 1 将来研究者として自立するために必要な専門領域における高度な知識・見識と学力、あるいは高度の専門性を有する職業人となるために必要な知識と学力を十分に備えている。
- 2 社会科学と人間科学の学際的領域における研究の遂行にふさわしい広い研究関心と独創的な問題意識、ならびに柔軟な知性を兼ね備えている。
- 3 社会と人間に関する問題に目を向け、その解決に挑み、新たな価値を創出することで学術的に貢献することやその社会への還元を志している。

Ⅲ 2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものと取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

日 程	10月募集		2月募集	
入学定員	【社会学専攻】 【社会システムデザイン専攻】 【メディア専攻】		前期課程：10名 後期課程：3名	前期課程：10名 後期課程：3名
課 程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	—	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2025年8月18日(月)～9月1日(月)		2025年12月19日(金) ～2026年1月9日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2025年9月29日(月)		2026年2月16日(月)	
試験日	2025年10月4日(土) } 【注1】 2025年10月5日(日) } (予備日)2025年10月11日(土) 2025年10月12日(日)		2026年2月20日(金) } 【注2】 2026年2月21日(土) } (予備日)2026年2月22日(日) 2026年2月23日(月・祝)	
合格者発表日	2025年10月10日(金) (予備日)2025年10月24日(金)		2026年2月27日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2025年10月10日(金)～10月24日(金) (予備日)2025年10月24日(金)～11月7日(金)		2026年2月27日(金)～3月16日(月)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2026年2月16日(月)～3月16日(月)			

【注1】社会学専攻および社会システムデザイン専攻は10月5日(日)に行います。メディア専攻は10月4日(土)・5日(日)の2日間で行います(1日目の試験を欠席した場合、2日目の試験は受験できません)。

【注2】社会学専攻および社会システムデザイン専攻は2026年2月21日(土)に行います。メディア専攻は2026年2月20日(金)・21日(土)の2日間で行います(1日目の試験を欠席した場合、2日目の試験は受験できません)。

※入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日7時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) で別途案内しています。

IV 募集内容

社会学研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻・コースおよび入学定員

研究科	専攻	コース（※）	入学定員
社会学研究科	社会学専攻	専門研究コース	10名
		課題研究コース	
	社会システムデザイン専攻	—	10名
	メディア専攻	—	10名

※ 社会学専攻については、専門研究コースおよび課題研究コースの2コースがあります。出願時にいずれかのコースを選択する必要があります。

なお、詳細は後掲の「社会学専攻におけるコース制について（博士課程前期課程）」を参照してください。

注 入試種別ごとの募集人員は設定していません。

ただし、社会学専攻については、専門研究コースで3名、課題研究コースで7名の募集人員を設けています。

○社会学専攻におけるコース制について（博士課程前期課程）

(1) 専門研究コース

<コースの概要>

専門研究コースは社会学における学術的専門能力を高め、研究者をめざす人のためのコースです。

<履修・単位修得方法>

合同演習 I a、I b、II a、II b、演習（またはプロジェクト演習）A、B（2科目4単位）および論文指導A、B（2科目4単位）を含めて、30単位以上修得する必要があります。

<修了要件>

当該課程に2年以上在学し、所定の単位を修得したうえで、修士論文の審査および最終試験に合格すれば、修士（社会学）の学位が授与されます。

(2) 課題研究コース

<コースの概要>

課題研究コースは、前期課程の2年間で社会学を応用する能力を高め、実社会に貢献することをめざす人のためのコースです。

<履修・単位修得方法>

合同演習 I a、I b、II a、II b、演習（またはプロジェクト演習）A、B（2科目4単位）および課題研究A、B（2科目4単位）を含めて、30単位以上修得する必要があります。

<修了要件>

当該課程に2年以上在学し、所定の単位を修得したうえで、特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格すれば、修士（社会学）の学位が授与されます。

(3) コースの選択方法・合否判定方法

- ① Web エントリー時に志望するコースを選択してください。
出願後、志望コースを変更することはできません。
- ② 専門研究コースを志望する場合は、専門研究コースとして合否を判定し、専門研究コースが不合格と判定された場合、課題研究コースとして合否を判定します。
合格コースは合格通知書にて通知します。
- ③ 課題研究コースを志望する場合は、課題研究コースについてのみ合否を判定します。

(4) 専門研究コース修了見込み者の後期課程への進学について

社会学専攻の後期課程に引き続き進学する場合、専門科目の試験を免除します。

■ 専門社会調査士について

社会学研究科社会学専攻では、2005 年度から一般社団法人社会調査協会の認定を受け、「専門社会調査士」の資格が取得可能となっています。

この資格の取得要件は、以下の4点です。

- 1) 社会調査士資格を有すること。
- 2) 社会調査協会が定める標準カリキュラムH～Jに対応した科目の単位を修得すること。
- 3) 社会調査を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること（研究論文の範囲は社会調査協会ホームページを参照）。
- 4) 博士課程前期課程を修了すること。

ただし、1) については、社会調査士資格を有していない場合、学部開講科目である社会調査士標準カリキュラムA～F（ただしEとFは選択制）を大学院開講科目（標準カリキュラムH～Jに対応した科目）と並行履修することで、社会調査士と専門社会調査士の資格を同時取得することが可能です。また、2) については標準カリキュラムH～Jに対応する本専攻設置の授業科目「社会調査実習」（135 分×30 週分）の単位修得が必要となります。

社会調査協会標準カリキュラム	本研究科対応科目
H. 調査企画・設計に関する演習（実習）科目（90 分×15 週）	社会学専攻 「社会調査実習」 （135 分×30 週）
I. 多変量解析に関する演習（実習）科目（90 分×15 週）	
J. 質的調査法に関する演習（実習）科目（90 分×15 週）	

資格取得希望者は、入学後のできるだけ早い時期に社会調査実習準備室（第3学舎2階 B201(A)）を通じて、本研究科社会調査士連絡責任者（社会学専攻教員 間淵領吾）までご連絡ください。

なお、「専門社会調査士」資格に関しては、入学後に配付される資料「専門社会調査士について」を熟読するとともに、一般社団法人社会調査協会のホームページ (<https://jasr.or.jp/>) をご参照ください。

M 一般入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願にあたっては、後掲の「社会学研究科 演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者一覧(博士課程前期課程)」を参照のうえ出願してください。

なお、研究テーマの適合性を確認するために、出願前に志望する担任者に連絡することを推奨します。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、27～28 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧 (チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください】</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 4 部 パソコン等で A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

なお、社会学専攻専門研究コースについては、専門研究コースが不合格の場合、課題研究コースで合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、社会学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

専攻	コース	筆記試験		口頭試問(100点)
		10:00~11:30 (90分)	13:00~14:30 (90分)	
社会学専攻	専門研究コース	専門科目(100点)	英語(100点)	筆記試験終了後
	課題研究コース		—	
社会システムデザイン専攻	—	専門科目(100点)	英語(100点)	
メディア専攻	—	専門科目(100点)	英語(100点)	

注1 社会学専攻および社会システムデザイン専攻の専門科目は、志望する担任者の演習・課題研究・論文指導研究テーマに関連した問題を出題します。

メディア専攻の専門科目は、志望する担任者に関わらず共通問題を出題します。

注2 社会学専攻の専門研究コースと課題研究コースの専門科目は同じ問題を出題します。

注3 口頭試問の開始時刻および詳細は、試験当日に指示します。

注4 入学試験日程は、2ページの「Ⅲ 2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧」のとおりです。詳細については、受験票で確認してください。

なお、メディア専攻については、次のとおり行います。

【10月募集】

2025年10月4日(土) : 筆記試験

2025年10月5日(日) : 口頭試問

【2月募集】

2026年2月20日(金) : 筆記試験

2026年2月21日(土) : 口頭試問

注5 筆記試験を欠席した場合、口頭試問は受験できません。

M 外国人留学生入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

「日本語能力試験(JLPT)」N1（旧試験では1級）に合格している者、または、「日本留学試験(EJU)」で日本語（記述含む）240点以上得点している者で、次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

（本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込み者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願にあたっては、後掲の「社会学研究科 演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者一覧(博士課程前期課程)」を参照のうえ出願してください。

なお、研究テーマの適合性を確認するために、出願前に志望する担任者に連絡することを推奨します。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、27～28 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧 (チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】	<p>卒業 (見込) であること、入学年月および卒業 (見込) 年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
日本語による研究計画書【⑤】	<p>概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 4 部</p> <p>パソコン等で A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。</p>
日本語能力に関する証明書【⑩】	<p>「日本語能力試験 (JLPT)」の場合 N1 (旧試験 1 級) 合格を証明する『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験 (EJU)」の場合 「日本語 (記述含む)」を 240 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたもの</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

なお、社会学専攻専門研究コースについては、専門研究コースが不合格の場合、課題研究コースで合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、社会学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

専攻	コース	筆記試験		口頭試問(100点)
		10:00~11:30 (90分)	13:00~14:30 (90分)	
社会学専攻	専門研究コース	専門科目(100点)	英語(100点)	筆記試験終了後
	課題研究コース		—	
社会システムデザイン専攻	—	専門科目(100点)	—	
メディア専攻	—	専門科目(100点)	—	

注1 社会学専攻および社会システムデザイン専攻の専門科目は、志望する担任者の演習・課題研究・論文指導研究テーマに関連した問題を出題します。

メディア専攻の専門科目は、志望する担任者に関わらず共通問題を出題します。

注2 社会学専攻の専門研究コースと課題研究コースの専門科目は同じ問題を出題します。

注3 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

注4 入学試験日程は、2ページの「Ⅲ 2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧」のとおりです。詳細については、受験票で確認してください。

なお、メディア専攻については、次のとおり行います。

【10月募集】

2025年10月4日(土) : 筆記試験

2025年10月5日(日) : 口頭試問

【2月募集】

2026年2月20日(金) : 筆記試験

2026年2月21日(土) : 口頭試問

注5 筆記試験を欠席した場合、口頭試問は受験できません。

M 社会人入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)または(2)に該当する者

(1) 次のア～クのいずれかの要件を満たした後、入学時に3年以上経過する者

ア 大学を卒業した者

イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）

キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに25歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(2)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願にあたっては、後掲の「社会学研究科 演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者一覧(博士課程前期課程)」を参照のうえ出願してください。

なお、研究テーマの適合性を確認するために、出願前に志望する担任者に連絡することを推奨します。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、27～28 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票(提出用)【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業していることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(1)-イによる志願者は、卒業証明書に代えて学位記の写しまたは学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また、出願資格(1)-カによる志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 4 部 パソコン等で A4 用紙(横書き 40 字×40 行)を使用して作成してください。
業績報告書【⑧】 ★職歴がある場合のみ	在職中の研究内容または業務内容 概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 4 部 パソコン等で A4 用紙(横書き 40 字×40 行)を使用して作成してください。
研究業績がある場合には、抜刷またはその写し【⑨】 ★該当者のみ	学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し 各 5 部
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票(提出用)と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

なお、社会学専攻専門研究コースについては、専門研究コースが不合格の場合、課題研究コースで合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、社会学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

専攻	コース	筆記試験		口頭試問(100点)
		10:00~11:30 (90分)	13:00~14:30 (90分)	
社会学専攻	専門研究コース	専門科目(100点)	英語(100点)	筆記試験終了後
	課題研究コース		—	
社会システムデザイン専攻	—	専門科目(100点)	—	
メディア専攻	—	専門科目(100点)	—	

注1 社会学専攻および社会システムデザイン専攻の専門科目は、志望する担任者の演習・課題研究・論文指導研究テーマに関連した問題を出題します。

メディア専攻の専門科目は、志望する担任者に関わらず共通問題を出題します。

注2 社会学専攻の専門研究コースと課題研究コースの専門科目は同じ問題を出題します。

注3 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

注4 入学試験日程は、2ページの「Ⅲ 2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧」のとおりです。詳細については、受験票で確認してください。

なお、メディア専攻については、次のとおり行います。

【10月募集】

2025年10月4日(土) : 筆記試験

2025年10月5日(日) : 口頭試問

【2月募集】

2026年2月20日(金) : 筆記試験

2026年2月21日(土) : 口頭試問

注5 筆記試験を欠席した場合、口頭試問は受験できません。

注 出願に際して、研究テーマおよび担任者を選択してください。
 ただし、※印の担任者については、研究員等として演習を担当しない学期があるので、
 事前に大学院入試グループへ相談してください。
なお、研究テーマおよび担任者については予定であり、変更することがあります。
変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/> (2025年4月現在)

2026年度 社会学研究科 演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者一覧
 (博士課程前期課程)

社会学専攻

演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者			担任者 コード
現代社会論	演習・論文指導 教授	宇城 輝人	60802
差別論	演習・論文指導 教授 博(文学) 大阪市立大	内田 龍史	76488
国際社会学	演習・論文指導 教授 博(学術) 東京大	酒井 千絵	69637
環境社会学	演習・論文指導 教授 博(政策科学) 法政大	大門 信也	95892
社会福祉学	演習・論文指導 教授 博(社会学) 東京大	土屋 敦	76898
都市社会学	演習・論文指導 教授	永井 良和	93501
社会調査論	演習・論文指導 教授	間淵 領吾	64027
社会学方法論	演習・論文指導 教授	保田 時男	63948
家族社会学	演習・論文指導 教授 博(人間科学) 大阪大	大和 礼子	93502
文化社会学	演習・論文指導 教授 博(社会学) 関学大	雪村まゆみ	74025
地域福祉論	演習・論文指導 教授 博(人間科学) 大阪大	吉岡 洋子	77495

社会システムデザイン専攻

演習・論文指導 研究テーマおよび担任者			担任者 コード
産業情報システム論研究	演習・論文指導 教授 博(経営学) 大阪市立大	崔 宇	71776
経済システム論研究	演習・論文指導 教授 博(経済学) 北海道大	友田 康信	78509
経済政策論研究	演習・論文指導 教授 博(経済学) 京都大	小川 一仁	70669
公共システム論研究	演習・論文指導 准教授 博(経済学) 京都大	木村 匡子	75872
人的資源管理論研究	演習・論文指導 教授 博(経営学) 神戸大	森田 雅也	92505
地域再生論研究	演習・論文指導 教授 博(人間科学) 大阪大	赤枝 尚樹	71600
社会技術論研究	演習・論文指導 教授 博(文学) 京都大	杉本 舞	71682
社会ネットワーク論研究	演習・論文指導 教授 Ph.D.(社会学) コロンビア大	※安田 雪	67771
人間開発論研究	演習・論文指導 教授 Ph.D.(開発学) ウィスコンシン大マディソン校	草郷 孝好	69740
企業システム論研究	演習・論文指導 教授 博(経営学) 大阪市立大	橋本 理	61502

メディア専攻

演習・論文指導 研究テーマおよび担任者			担任者 コード
ジェンダー・メディア研究	演習・論文指導 教授 博(社会科学) お茶の水女子大	守 如子	67013
メディア表象研究	演習・論文指導 教授 博(学際情報学) 東京大	村田 麻里子	68124
メディア産業研究	演習・論文指導 教授 博(政策・メディア) 慶応義塾大	三浦 文夫	59905
国際ジャーナリズム研究	演習・論文指導 教授	劉 雪雁	71610
メディア技術研究	演習・論文指導 教授	水越 伸	77843
放送メディア研究	演習・論文指導 准教授 博(学際情報学) 東京大	松山 秀明	75403
メディア研究法	演習・論文指導 准教授 博(人間・環境学) 京都大	溝口 佑爾	74836
広告研究	演習・論文指導 教授	伊吹 勇亮	74463

社会学研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
社会学研究科	社会学専攻	3名
	社会システムデザイン専攻	3名
	メディア専攻	3名

注 入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】 出願にあたっては、後掲の「2026年度 社会学研究科 論文指導研究テーマおよび担任者一覧(博士課程後期課程)」を参照のうえ、出願前に志望する担任者に必ず連絡してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、27～28ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。

	<p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	<p>3,000字程度（注） 原本1部とその写し4部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p> <p>（注）必要な場合は同じ程度の分量の参考資料をつけることができます。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> <p>（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】	<p>3,000字程度 原本1部とその写し4部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	5部
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※	<p>3,000字程度 原本1部とその写し4部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】※	5部
出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	<p>研究業績または業務内容の概要10,000字程度 原本1部とその写し4部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各5部</p>

※ 2026年3月修了見込みの者が出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2026年1月16日（金）まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2026年1月16日（金）時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」と「修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、社会学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

筆記試験		口頭試問 (100 点)
10:00 ~ 11:30 (90 分)	13:00 ~ 14:30 (90 分)	
専門科目 (100 点)	英語 (100 点)	筆記試験終了後

注1 専門科目は、志望する担任者の論文指導研究テーマに関連した問題を出題します。

注2 2026年3月に本大学院社会学研究科博士課程前期課程を修了見込みの者が、引き続き同一専攻の博士課程後期課程に出願する場合は、専門科目の試験を免除します。ただし、社会学専攻課題研究コースは対象外です。

注3 口頭試問の開始時刻および試験場の詳細は、試験当日に指示します。

注4 入学試験日程は、2ページの「Ⅲ 2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧」のとおりです。詳細については、受験票で確認してください。

なお、メディア専攻については、次のとおり行います。

【2月募集】

2026年2月20日(金) : 筆記試験

2026年2月21日(土) : 口頭試問

注5 筆記試験を欠席した場合、口頭試問は受験できません。

D 外国人留学生入学試験（2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】 出願にあたっては、後掲の「2026年度 社会学研究科 論文指導研究テーマおよび担任者一覧(博士課程後期課程)」を参照のうえ、出願前に志望する担任者に必ず連絡してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、27～28ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。 原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。

	<p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
日本語による研究計画書【⑤】	<p>3,000字程度（注） 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p> <p>（注）必要な場合は同じ程度の分量の参考資料をつけることができます。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
日本語または英語による修士論文の概要【⑥】	<p>3,000字程度（英語で書かれたものは1,500words程度） 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	<p>5部</p> <p>修士論文が日本語または英語で作成されたものでない場合は、日本語または英語に翻訳したものを提出してください。</p>
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
日本語または英語による修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※	<p>3,000字程度（英語で書かれたものは1,500words程度） 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】※	<p>5部</p> <p>修士論文として提出予定の論文または論文の草稿が日本語または英語で作成されたものでない場合は、日本語または英語に翻訳したものを提出してください。</p> <p>なお、翻訳する場合は、パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>

※ 2026年3月修了見込みの者が出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2026年1月16日（金）まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2026年1月16日（金）時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」と「修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、社会学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

筆記試験		口頭試問 (100 点)
10:00 ~ 11:30 (90 分)	13:00 ~ 14:30 (90 分)	
専門科目 (100 点)	英語 (100 点)	筆記試験終了後

注1 専門科目は、志望する担任者の論文指導研究テーマに関連した問題を出題します。

注2 2026年3月に本大学院社会学研究科博士課程前期課程を修了見込みの者が、引き続き同一専攻の博士課程後期課程に出願する場合は、専門科目の試験を免除します。ただし、社会学専攻課題研究コースは対象外です。

注3 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

注4 入学試験日程は、2ページの「Ⅲ 2026年度入学試験日程および各種手続期間一覧」のとおりです。詳細については、受験票で確認してください。

なお、メディア専攻については、次のとおり行います。

【2月募集】

2026年2月20日(金) : 筆記試験

2026年2月21日(土) : 口頭試問

注5 筆記試験を欠席した場合、口頭試問は受験できません。

D 社会人入学試験（2月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同程度の学力を有すると認められた者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア 入学時において、修士課程修了後、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において引き続き2年以上勤務している者または2年以上経験を有する者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】出願にあたっては、後掲の「2026年度 社会学研究科 論文指導研究テーマおよび担任者一覧(博士課程後期課程)」を参照のうえ、出願前に志望する担任者に必ず連絡してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、27～28ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票(提出用)【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙

出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了証明書【④】	<p>出願書類③に、修了していることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	<p>3,000字程度（注） 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p> <p>（注）必要な場合は同じ程度の分量の参考資料をつけることができます。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> <p>（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)-ア～オで出願する者	
修士論文の概要【⑥】	<p>3,000字程度 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	5部
出願資格(1)-カまたは(1)-キで出願する者および 専門職学位を有する者で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	<p>研究業績または業務内容の概要10,000字程度</p> <p>原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各5部</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

なお、社会学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目・試験時間および配点

筆記試験	口頭試問 (100 点)
10:00 ~ 11:30 (90 分)	
専門科目 (100 点)	筆記試験終了後

注1 専門科目は、志望する担任者の論文指導研究テーマに関連した問題を出題します。

注2 口頭試問は提出した研究計画書および修士論文（ない場合は業績報告書、研究業績等）とその概要に基づいて行います。

注3 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

注4 入学試験日程は、2ページの「Ⅲ 2026 年度入学試験日程および各種手続期間一覧」のとおりです。詳細については、受験票で確認してください。

なお、メディア専攻については、次のとおり行います。

【2月募集】

2026年2月20日(金) : 筆記試験

2026年2月21日(土) : 口頭試問

注5 筆記試験を欠席した場合、口頭試問は受験できません。

注 出願に際しては、志望する論文指導担任者を選択してください。
 ただし、※印の担任者については、研究員等として演習を担当しない学期があるので、
 事前に大学院入試グループへ相談してください。
なお、論文指導研究テーマおよび担任者については変更することがあります。
変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/> (2025年4月現在)

2026年度 社会学研究科 論文指導研究テーマおよび担任者一覧 (博士課程後期課程)

社会学専攻

論文指導研究テーマおよび担任者			担任者 コード
現代社会論	教授	宇城 輝人	60802
国際社会学	教授 博(学術)東京大	酒井 千絵	69637
社会福祉学	教授 博(社会学)東京大	土屋 敦	76898
都市社会学	教授	永井 良和	93501
社会学方法論	教授	保田 時男	63948
家族社会学	教授 博(人間科学)大阪大	大和 礼子	93502

社会システムデザイン専攻

論文指導研究テーマおよび担任者			担任者 コード
産業情報システム論研究	教授 博(経営学)大阪市立大	崔 宇	71776
経済システム論研究	教授 博(経済学)北海道大	友田 康信	78509
経済政策システム論研究	教授 博(経済学)京都大	小川 一仁	70669
人的資源管理論研究	教授 博(経営学)神戸大	森田 雅也	92505
社会技術論研究	教授 博(文学)京都大	杉本 舞	71682
社会ネットワーク論研究	教授 Ph.D.(社会学)コロンビア大	※安田 雪	67771
人間開発論研究	教授 Ph.D.(開発学)ウイソコンシ大マディソン校	草郷 孝好	69740
企業システム論研究	教授 博(経営学)大阪市立大	橋本 理	61502

メディア専攻

論文指導研究テーマおよび担任者			担任者 コード
ジェンダー・メディア研究	教授 博(社会科学)お茶の水女子大	守 如子	67013
メディア表象研究	教授 博(学際情報学)東京大	村田 麻里子	68124
メディア技術研究	教授	水越 伸	77843
広告研究	教授	伊吹 勇亮	74463

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書について

(1) 手書きの場合、黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
パソコン等を使用する場合、PDF のフォーム機能を利用して文字入力が可能です。本学所定用紙を改変することなく入力のうえ、印刷してください。ただし、正しく入力できない場合やフォーム機能が設定されていない箇所については、印刷後、手書きで記入してください。

(2) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する担任者を選択してください。なお、博士課程前期課程において社会学専攻を志望する者は、志望するコース（専門研究コース・課題研究コース）を選択してください。

① **博士課程前期課程** 本募集要項 15ページ

「2026年度 社会学研究科 演習・課題研究・論文指導 研究テーマおよび担任者一覧(博士課程前期課程)」

博士課程後期課程 本募集要項 26ページ

「2026年度 社会学研究科 論文指導研究テーマおよび担任者一覧（博士課程後期課程）」

② 社会学研究科ウェブサイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_soc/)

③ 関西大学大学院Information (デジタルパンフレット)

(3) 出願後、志望コース、志望担任者の変更は一切認めません。

(4) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。

(5) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業（修士）論文が未定の場合は「未定」、ない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。

(6) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。

なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。

また、Web エントリーにおいて代用漢字等を使用した場合については、出願書類と Web エントリー上の文字が異なっても問題ありません。

2 研究計画書について

必ず氏名を明記してください。

3 その他

(1) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書は原本を提出してください。

（注）原本とは、出身大学（院）等が紙媒体で発行する証明書*です。

*PDF等のファイル形式をプリントアウトしたものは該当しません。

提出された各証明書は返却できませんので、再発行不可等の理由により原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた「公証書（公証処が発行したもの・日本の公証役場は不可）」を提出してください。

各証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

志望理由書の「学歴事項」欄において、大学・学部・学科名を記入するときには、証明書が英語で書かれている場合は日本語に訳し、中国語で書かれている場合は日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

(2) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。

(3) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。

(4) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。

(5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。

- ・2025年8月1日(金)～9月20日(土)の間の土曜日
- ・2025年8月11日(月・祝)～8月20日(水)
- ・2025年12月26日(金)～2026年1月6日(火)

(6) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。



関西大学大学院

https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

mailフォーム https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：高槻オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail: k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：ミューズオフィス

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail: sakai1@ml.kandai.jp